

榎本敬. 1995. 雑草種子の収集・保存と形質調査. 平成6年度科学研究費補助金研究成果報告書. 岡山大学資源生物科学研究所 25pp+44 pp.

榎本敬 (山口裕文編). 1997. 雑草フロラをつくりあげる帰化植物. 雑草の自然史. pp17-34, 209-216. 北海道大学図書刊行会. 札幌.

榎本敬. 1998. 雑草種子の収集・保存と形質・画像のデータベース化. 平成8年度科学研究費補助金研究成果報告書. 岡山大学資源生物科学研究所. 56pp.

笠原安夫. 1968. 日本雑草図説. 518pp. 養賢堂. 東京.

外来 (帰化) 雑草・豆知識 (1)

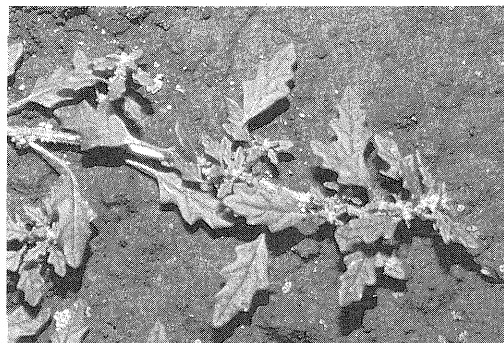
— ゴウシュウアリタソウ —

皆さんの所には今まで見たことがない草は生えていませんか?

最近, 一般の図鑑で調べても分からない草が多くなったという声がよく聞かれるようになった。事実一般の図鑑には載っていない帰化植物 (外来雑草) が次第に多くなり, 判別に困っているのが実状である。

帰化植物の侵入は急速に増え, それらの情報は一部の専門家や愛好家の間では知られていても, 一般には伝わって来ない。帰化植物の情報をより広く知ってもらうために, 本誌「植調」に雑草として問題になるような草, または予備軍となるような草を取りあげて, 連載で紹介することにした。

まず最初は最近畑地や道端でよく見かけるようになったゴウシュウアリタソウを紹介する。

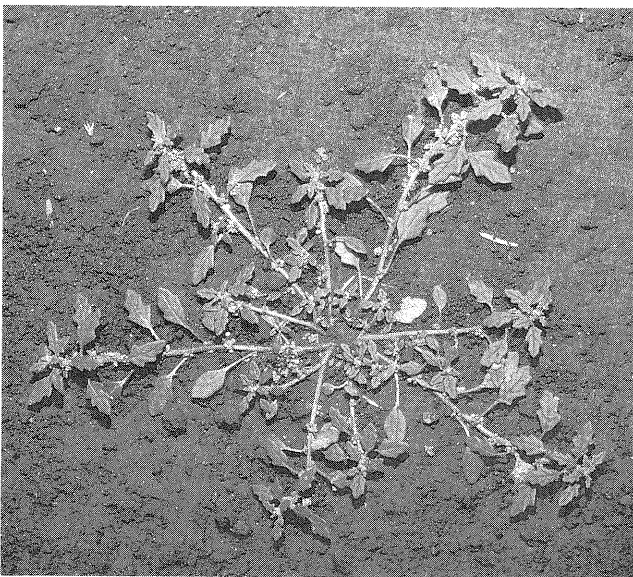


▲成植物の茎葉

ゴウシュウアリタソウ [アカザ科]
Chenopodium pumilio R. Br.

名前のとおりオーストラリア原産の一年生草本でオーストラリア, アフリカ, 南アメリカの熱帯～亜熱帯を中心に暖帯の一部まで広がっている。日本では昭和年代に本州で見いだされ今では各地に広がっている。春に発生し, 種子繁殖する。茎は根本から多数分岐して横に這ったり, 斜上, 直立して茎の長さは15～40cm, 短毛と腺毛がある。葉は互生, 柄があり長楕円形で3～4対の鋸歯があり, 長さ0.8～3cm, 幅0.4～1.5cmでやや厚みがある。下面には腺点が多い。花期7～10月で葉腋に緑色の小さな花が密集して経4mmほどの固まりとなつてつける。全体に特異の臭いがあり, 家畜が食べると有毒である。

(日本帰化植物写真図鑑, 全国農村教育協会発行より転載)



▲成植物